



連載『「過疎」と向き合う』取材の様子
『寺院消滅』著者・鶴飼秀徳氏（浄土宗）インタビュー

「第二十三期全曹青事業」

『過疎問題への取り組み』について

過疎問題担当庶務 堀江紀宏

今期の全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）は「過疎問題への取り組み」を基幹事業としております。具体的な取り組みとして、広報誌『SOUSEI』での連載や、過疎化の進行する島根県の宗門寺院を巡る「過疎に関するスタディツアー」を実施してまいりました。また六月からは、昨今の新型コロナウイルスの状況に鑑み、オンラインにて全五回の研修会を開講しております。この度の活動紹介では、そうした基幹事業での取り組みについて触れさせていただきます。

まず、広報誌『SOUSEI』では、「過疎」と向き合う」と題し、会員同士の情報共有の一助となるべく連載を進めています。特に過疎問題は多種多様な社会問題と密接に結びつき、その影響は我々の想像を遥かに超えたものとなっています。ゆえに幅広い視座のもと、曹洞宗だけでなく他宗教団、日本だけでなく世界にも目を向け、より多角的な記事になるよう心がけ



過疎スタディツアー（写真は島根県松江市の松音寺住職・藤島義信師）

ています。また、加盟曹洞宗青年会（以下、加盟曹青会）会員を対象に実施いたしました、「過疎に関する意識調査」の調査結果を掲載し、現場のリアルな声もお届けしています。その他、過疎問題に取り組む公的機関や各種データなどを、QRコードより閲覧できるようにしております。是非ともご一読いただき、今後の活動にお役立ていただければ幸いです。

次に「過疎に関するスタディツアー」についてです。

こちらは昨年、島根県を会場に開催した禅文化学林に合わせて実施いたしました。「百聞は一見にしかず」と言いますが、机上の学びだけでなく、過疎地域の空気を肌で感じ、当該地域寺院の住職より現状を伺える有意義な研修となりました。なかには当該寺院の檀信徒からも貴重な意見をいただき、改めて僧侶と檀信徒が一体で歩みを進めることの大切さを痛感いたしました。

また禅文化学林に合わせたの実施ということもあり、当日は全国各地から加盟曹青会の参加がありました。スタディツアーを通して、会員同士の情報交換や意思共有がなされ、全曹青のスケールメリットが存分に発揮された機会となったように思います。

最後に六月より開講しております、「明日をひらく寺院創生講座」についてご紹介させていただきます。



オンライン zoom 研修会 全5回

明日をひらく 寺院創生講座



遍照寺院長 那由寺院長も、ひとつひとつのお寺の可能性をひらく寺業計画を開こう！
曹洞宗青年会研修会（2020年6月～10月）の次年度（2021年）研修（100名）講師：一般社団法人 お寺の未来 代表理事 井出悦郎氏

＜参加要項＞

- 日程 全5回 ※内容は予定です。
- 第1回 6月25日（木）13：30～16：30
「寺院を取り巻く世界と日本の今を知る」
- 第2回 7月29日（木）13：30～16：30
「お寺の強みとビジョンを探索する」
- 第3回 9月 1日（火）13：30～16：30
「お寺の可能性を開くマーケティング（受け手視点）を学ぶ」
- 第4回 10月 5日（月）13：30～16：30
「お寺の持続的財務と組織、会員制度を考える」
- 第5回 11月26日（木）13：30～16：30
「世界に一つの寺業計画を発表する」
- 予備日 11月27日（金）13：30～16：30
- 講師 井出悦郎氏 一般社団法人お寺の未来 代表理事
- 対象 曹洞宗青年僧侶向け ※限定はせず、年齢・他宗・寺族・寺歴など要望があれば応じます。
- 会費 無料

オンライン研修会「明日をひらく 寺院創生講座」参加要項



●執筆者プロフィール
全曹青 執行部庶務
堀江紀宏

いずも曹洞宗青年会所属
第二十三期全曹青執行部庶務（過疎問題担当）
第二十三期全曹青では同じく過疎問題担当庶務
の中野孝海（曹洞宗福島県青年会）とともに「過
疎問題への取り組み」事業を担当している

本講座では「お寺の未来」代表理事である、井出悦郎氏を講師にお招きし、全五回の連続講座として開講しております。どうしてもネガティブな印象を抱く過疎問題に対し、正しく現状を見定め、明るく希望あふれる寺院の可能性を探る内容となっております。講座全体を通じて、取り組みの具体的指標となる「寺業計画書」の作成を目標に、希望者による発表の機会も設けております。詳細はHP『般若』にてご確認いただけます。

第二十三期も折り返し地点を過ぎました。しかし、基幹事業としております「過疎問題」は、ますます各仏教教団にとつての懸案事項となることでしょう。今期の基幹事業が皆様にとって、明日をひらく良き礎となりますことを切に願ひ擱筆といたします。